

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	流山市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例
担当課	高齢者生きがい推進課

① 市民参加の方法の選択について

審議会とパブリックコメントを市民参加の手法として選択したことは妥当と評価する。

《各委員からの意見》

- ・ 条例改正に関して市民とどのようなコミュニケーションをとろうとしたのか、そのスタンスがよくわからない。
- ・ パブリックコメントの選択は評価するが、閲覧図書等の設置場所については、市役所や公民館、各福祉会館、高齢者福祉センター森の倶楽部等であったが、もう少し対象年齢が該当する場所に設置できないのか疑問が残る。
- ・ パブリックコメントは広く一般市民へのアプローチする方法であるが、本条例の場合、対象が限定されることから、対象者が多く所属すると思われる老人会や自治会との意見交換会やアンケート調査などの方法があっても良かったのではないか。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

審議会やパブリックコメントの実施スケジュールは妥当と評価する。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

パブリックコメントでの意見が0件だったことから、パブリックコメントの実施や条例の内容が周知されていなかったのではないかと疑問が残る。パブリックコメントで多くの意見を求めるのであれば、市民が関心度が高くなる様な工夫を検討すべきと考える。

《各委員からの意見》

- ・ 各地域の敬老会のようなサークル活動を通じて情報提供を行う方法も検討されたい。
- ・ 市民参加の方法の選択は問題なかったと思うが、もう少し、敬老祝金の対象（に近い）となる高齢者の集う場所（老人福祉施設など）での事業内容の説明や、パブリックコメントの説明が必要ではなかったか疑問が残る。パブリックコメントは、「若い世代を含め検討してもらうため」とのことであったが、実際、敬老祝金がなくなり『がっかり』するのは、もうすぐ（敬老祝金を）もらえそうだと思っていた市民ではないか。
- ・ 高齢者福祉政策における敬老祝金の位置付け、廃止や縮小の二者択一案、他の自治体の動向などの説明や情報提供も説明すべきではなかったかと思慮する。
- ・ 敬老祝金だけにスポットを当てるのではなく、高齢者福祉サービスの全体像とそこでの敬老祝金の位置づけを説明した方が良いのではないか。

④ 改善点について

《各委員からの意見》

- ・ 事業内容が高齢者に関することであっても、若い人への説明、対象となりうる市民への説明は必要不可欠と考える。そのため、今後は、より多くの市民に対し、より広く事業内容を周知する工夫をされたい。
- ・ パブリックコメントの閲覧図書等の設置場所は、事業の対象者（市民等）からのより多くの意見を求めるのであれば、対象者が利用する場所・施設（市内病院の待合室等）への設置も検討されたい。
- ・ 本事業の場合、対象者が限定されることから、対象者が多く所属する老人会や自治会等との意見交換会やアンケート調査等の選択もあっても良かったのではないか。
- ・ 福祉施策の一環として代替施策を提示する等して、市民参加を促すべきではなかったか。

⑤ 当該事業の評価について

A -

+ **B** -

+ C -

+ D -